

◇ 上下水道部

◎ 水道事業会計(上下水道経営課、上下水道営業課、水道工務課、水道維持課)

上下水道経営課、上下水道営業課、水道工務課、水道維持課の4課が置かれており、職員は部長以下64人(うち臨時職員14人)である。このうち、部長以下14人(うち臨時職員2人)は下水道事業を兼務している。

事業の目的は、富士山からの豊富でおいしい水を、安全で信頼される水道水として持続的に供給し、公衆衛生及び生活環境の維持向上に寄与することである。

1 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

○収入 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	調 定 額	予 算 残 額	執行率
水道事業収益	3,878,000,000	1,502,010,226	2,375,989,774	38.73
営業収益	3,545,187,000	1,442,825,593	2,102,361,407	40.70
営業外収益	332,810,000	56,900,037	275,909,963	17.10
特別利益	3,000	2,284,596	△2,281,596	76,153.20

○支出 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	支出命令額	予 算 残 額	執行率
水道事業費用	3,113,000,000	630,703,149	2,482,296,851	20.26
営業費用	2,972,360,000	630,688,788	2,341,671,212	21.22
営業外費用	135,637,000	14,361	135,622,639	0.01
特別損失	3,000	0	3,000	0.00
予備費	5,000,000	0	5,000,000	0.00

(2) 資本的収入及び支出

○収入 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	調 定 額	予 算 残 額	執行率
資本的収入	971,000,000	2,370,304	968,629,696	0.24
企業債	700,000,000	0	700,000,000	0.00
補助金	276,000	0	276,000	0.00
負担金	270,723,000	0	270,723,000	0.00
固定資産売却代金	1,000	2,370,304	△2,369,304	237,030.40

○支 出

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	支出命令額	予 算 残 額	執行率
資 本 的 支 出	3,514,000,000	124,097,302	3,389,902,698	3.53
建設改良費	3,039,838,000	124,097,302	2,915,740,698	4.08
企業債償還金	471,162,000	0	471,162,000	0.00
予 備 費	3,000,000	0	3,000,000	0.00

2 事務事業の執行状況

(1) 給水の状況

調定件数は263,274件で、前年度同期に比べて4,342件(1.68%)増加しているが、使用水量は11,052,843m³で、前年度同期に比べて90,801m³(0.81%)減少している。これは主に節水機器の普及などの影響であるが、年々販売水量が減少傾向を示しており、水道事業を取り巻く経営環境は厳しいものとなっている。

(2) 水道料金の未収額

8月末日時点における未収額は94,453千円(現年度分70,558千円、過年度分23,895千円)、収入率は93.66%である。未収額は前年度同期に比べ5,778千円(6.52%)増加している。期限内に納付しない者で督促状などの催告に応じない者又は分割納入の誓約不履行者に対し、4月から8月までに延べ2,683戸に給水停止を執行している。

なお、未納件数は延べ24,978件で前年度同期に比べ1,742件(7.50%)増加している。

(単位：円、%)

区 分	調 定 額	収 入 額	未 収 額	収入率	
現年度水道料金	1,391,773,013	1,321,214,875	70,558,138	94.93	
過年度水道料金	98,039,439	74,144,848	23,894,591	75.63	
過 年 度 内 訳	平成30年度	81,349,094	72,898,531	8,450,563	89.61
	平成29年度	6,221,465	998,136	5,223,329	16.04
	平成28年度	4,194,166	167,695	4,026,471	4.00
	平成27年度	3,148,298	77,658	3,070,640	2.47
	平成26年度	3,126,416	2,828	3,123,588	0.09
合 計	1,489,812,452	1,395,359,723	94,452,729	93.66	

(3) 水道料金納付

8月末日時点における水道料金の現年度分調定件数263,274件のうち口座振替調定件数は201,884件で76.68%、自主納付調定件数は61,390件で23.32%となっている。

現年度及び過年度分収納件数262,745件のうちコンビニエンスストアによる収納件数は49,482件で利用率は18.83%となっている。

また、納入通知の発送、督促、滞納整理などの徴収及び還付業務を民間委託している。

(4) 建設改良事業

8月末日時点における建設改良事業の工事契約状況及び支出状況は、以下のとおりである。

ア 水道施設整備事業(水源・配水管の新設、管網整備等)

木島送水場建築工事ほか6件で、配水管布設総延長418.0m、契約金額471,578千円となっている。

イ 簡易水道統合整備事業(簡易水道統合に伴う配水管布設等)

中里愛鷹1号線ほか配水管布設工事で、配水管布設延長381.3m、契約金額49,464千円となっている。

ウ 配水設備等改良事業(配水管路や水道諸施設の耐震化・維持保全、老朽管布設替等)

富士鷹岡線(中島)配水管布設替工事ほか33件で、配水管布設総延長9,059.2m、契約金額1,101,447千円で、このうち、県道吉永吉原停車場線(沼川左岸)配水管布設替工事ほか2件は、工事が完了し、88,765千円を支出している。

エ 新富士駅南地区土地区画整理配水管整備事業(新富士駅南地区土地区画整理地内の配水管布設等)

新富士駅南地区土地区画整理内柳島中通り線配水管移工事ほか2件で、配水管布設総延長247.1m、契約金額20,085千円となっている。

オ 第二東名 I C 周辺地区土地区画整理配水管整備事業(第二東名 I C 周辺地区土地区画整理地内の配水管布設等)

第二東名 I C 周辺地区土地区画整理内末広南北線ほか配水管移設工事ほか1件で、配水管布設総延長576.9m、契約金額33,431千円となっている。

(5) 第一次富士市水道事業経営戦略プランの推進(計画期間：令和元年度～令和12年度)

平成30年度末に策定した第一次富士市水道事業経営戦略プランは、「いつまでも安全・安心 富士市の水」を基本理念とし、これに基づき、様々な課題を各種ビジョンとしてまとめ、基本方針を定めている。ビジョンには、合理化ビジョン、老朽化対策ビジョン、耐震化ビジョン、有収率向上ビジョン、簡易水道統合ビジョンなどがあるが、本年度より各ビジョンの基本方針に基づく事業を推進している。

3 特記事項

- (1) 旧水道庁舎に関しては、上下水道部としての活用方法が無ければ、資産経営課に所管を移し、できる限り早期に市全体で活用方法を検討されたい。
- (2) 水道施設等管理業務委託について、第1期の内容では既存の業務を束ねただけで、明らかな経費削減等の効果は見出し得ないので、第2期においては、経費削減効果が明確で、効率的な業務委託となるよう要望する。

◎ 公共下水道事業会計(上下水道経営課、上下水道営業課、下水道建設課、
下水道施設維持課)

上下水道経営課、上下水道営業課、下水道建設課、下水道施設維持課の4課が置かれており、職員は部長以下61人(うち臨時職員9人)である。このうち、部長以下14人(うち臨時職員2人)は水道事業を兼務している。

事業の目的は、汚水を適正に処理するとともに、雨水を排除し、もって生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全に寄与することである。

1 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

○収入 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	調 定 額	予 算 残 額	執行率
下水道事業収益	6,304,000,000	1,550,852,568	4,753,147,432	24.60
営業収益	3,004,945,000	1,246,095,875	1,758,849,125	41.47
営業外収益	3,299,053,000	304,756,693	2,994,296,307	9.24
特別利益	2,000	0	2,000	0.00

○支出 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	支出命令額	予 算 残 額	執行率
下水道事業費用	5,279,000,000	643,358,335	4,635,641,665	12.19
営業費用	4,668,552,000	643,257,808	4,025,294,192	13.78
営業外費用	605,446,000	100,527	605,345,473	0.02
特別損失	2,000	0	2,000	0.00
予備費	5,000,000	0	5,000,000	0.00

(2) 資本的収入及び支出

○収入 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	調 定 額	予 算 残 額	執行率
資本的収入	1,866,440,000	53,901,980	1,812,538,020	2.89
企業債	1,135,800,000	0	1,135,800,000	0.00
出資金	62,965,000	0	62,965,000	0.00
補助金	615,040,000	0	615,040,000	0.00
負担金	48,911,000	48,115,950	795,050	98.37
分担金	3,723,000	5,786,030	△2,063,030	155.41
固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0.00

○支 出

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	支出命令額	予 算 残 額	執行率
資 本 的 支 出	4,761,670,000	185,628,222	4,576,041,778	3.90
建設改良費	2,274,924,000	185,628,222	2,089,295,778	8.16
企業債償還金	2,483,746,000	0	2,483,746,000	0.00
予 備 費	3,000,000	0	3,000,000	0.00

2 事務事業の執行状況

(1) 汚水処理の状況

調定件数は193,253件で、前年度同期に比べて5,132件(2.73%)増加しており、排除汚水量は8,347,688m³で、前年度同期に比べて40,980m³(0.49%)増加している。

(2) 下水道使用料の未納額

8月末日時点における収納率は92.33%で、未納額は106,531千円(現年度分65,831千円、過年度分40,700千円)、前年度同期に比べ6,562千円(6.56%)増加している。

なお、未納件数も延べ22,602件で前年度同期に比べ1,776件(8.53%)増加している。

(単位：円、%)

区 分	調 定 額	収 入 額	未 納 額	収納率	
現年度使用料	1,246,035,875	1,180,205,164	65,830,711	94.72	
過年度下水道使用料	143,621,423	102,921,110	40,700,313	71.66	
過年度内訳	平成30年度	113,423,847	100,867,991	12,555,856	88.93
	平成29年度	9,351,802	1,202,308	8,149,494	12.86
	平成28年度	7,190,083	348,310	6,841,773	4.84
	平成27年度	7,077,219	335,477	6,741,742	4.74
	平成26年度	6,569,316	157,868	6,411,448	2.40
	平成25年度	9,156	9,156	0	100.00
合 計	1,389,657,298	1,283,126,274	106,531,024	92.33	

※ 収入額には、水道事業会計預り分を含む。

(3) 建設改良事業

8月末日時点における建設改良事業の契約状況は、以下のとおりである。

ア 下水道管路耐震化事業

緊急に対策が必要な区間の管路の耐震化として、公共下水道管路施設地震設計業務委託(20か所の人孔浮上防止対策)に着手し、契約金額4,840千円となっている。

また、平成30年度からの繰越事業として、東部西幹線4号線ほか地震対策工事に着

手し、契約金額10,010千円となっている。

イ 下水道管路整備事業

下水道管路新設工事として契約金額1,115,059千円で、以下のとおり執行している。

事業名		工事名	延長
東部処理区管路整備(国庫補助)		東部東7011号線ほか管路新設工事ほか16件	2,372.4m
東部処理区管路整備(起債単独等)		神戸410号線管路新設工事ほか18件	978m
西部処理区管路整備(国庫補助)		厚原伝法69号線管路新設工事ほか21件	2,415.7m
西部処理区管路整備(起債単独等)		傘木179号線ほか管路新設工事ほか26件	1,229.8m
繰 越 分	西部処理区管路整備 (国庫補助)	天間川坂2043号線管路新設工事ほか1件	410m
	西部処理区管路整備 (起債単独等)	天間川坂2043号線管路新設工事ほか1件	18m

さらに、東部処理区取付管・公共柵設置工事として56件、西部処理区取付管・公共柵設置工事として81件、契約金額85,371千円となっている。

ウ 下水道管渠等改築事業

下水道老朽管の改築のため、西部処理区12号線ほか管更生工事ほか3件の管更生工事や、前田中継マンホールポンプ場ポンプ取替工事などに着手し、契約金額84,893千円となっている。

◎ 生活排水対策課

職員は課長以下10人(うち臨時職員5人)である。

事務の分掌は、クリーンセンターききょう(し尿処理施設)及び中野台下水処理施設の維持管理並びに浄化槽の補助金交付及び機能維持のための指導などに関するものである。

1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対 予 算 執 行 率
歳 入	102,150,000	11,391,137	90,758,863	11.15
歳 出	646,546,000	530,170,419	116,375,581	82.00

歳入は予算現額102,150千円に対し、調定額11,997千円、収入済額11,391千円で執行率11.15%となっている。収入未済額の主なものは、国庫補助金及び使用料で、年度末までには収入される予定となっている。

歳出については、予算現額646,546千円に対し、支出負担行為額530,170千円で執行率82.00%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 浄化槽設置助成事業

富士市生活排水処理長期計画で定めた区域で、し尿と生活雑排水を併せて処理する浄化槽を設置する者に対し、国庫補助指針に基づき補助を行っており、8月末日時点で、5人槽76基、7人槽15基及び10人槽4基に合せて71,260千円を支出している。

(2) 浄化槽維持管理助成事業

浄化槽法に基づく適正な維持管理を推進するため、法定検査に合格した浄化槽及び浄化槽区域において管理組合が管理する集中浄化槽に対して補助を行っており、8月末日時点で、浄化槽に関する補助で1,600件、28,800千円、集中浄化槽に関する補助で6件、9,339千円を支出している。

(3) クリーンセンターききょう及び中野台下水処理施設管理運転業務

クリーンセンターききょうの管理運転業務は包括的民間委託をしており、本年度は271,083千円の支出を予定している。また、計装設備改修工事及び硝化脱窒素槽攪拌ポンプ吸込弁更新工事に着手し、契約金額27,720千円となっている。

中野台下水処理施設の管理運転業務は包括的民間委託をしており、本年度は13,145千円の支出を予定している。また、汚水計量槽配管取替工事など12件の維持修繕工事を施工する予定である。